

生成AIを味方にして、生徒のために仕事の効率UP!!

発表者 兵庫県立三田西陵高等学校 西野 一紀

本日の流れ

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| A 発表者 自己紹介 | E 生成AI (Chat GPT) の紹介 |
| B 仲間をつくる | F 生成AI (Chat GPT) に挑戦 |
| C 観点別評価について | G 生成AI (Chat GPT) の練習 |
| D 観点別評価について (仲間と情報交換) | H 本日の振り返り (I 私の使用事例集) |

A 発表者 自己紹介

- (1) 名 前 西野 一紀 (ニシノ カズキ)
- (2) 出 身 大阪府堺市
- (3) 教員歴 12年目 (甲南大学/Snow College → 伊丹市立伊丹(非常勤) → 尼崎市立琴ノ浦 → 県立三田西陵)
- (4) 目 的 生成AIを味方にする! 観点別評価について情報交換する!
…> 新年度に向けて気持ちを新たに!!

B 仲間をつくる

(お 願 い) 2~3名の先生方でペア/グループを作ってください。

- 自己紹介 (名前/勤務校)
- 生成AIを仕事で使っているか (YES/NO)
- 観点別評価について ”正直に” に思っていること

C 観点別評価について

◎成績評価 私の基本軸◎

知識・技能 何かを知っているか、知らないか	思考・判断・表現 知っていることを状況・場面に 応じて使用(再構築)できるか	主体的に学習に取り組む態度 自分自身の学習を振り返って 粘り強く次につなげられるか
--------------------------	--	---

D 観点別評価について (仲間と情報交換)

(お 願 い) 仲間の先生方で情報交換してください。

- 評 価：どうしていますか?
- 定期考査：どんな問題を出題していますか?

E 生成AI (Chat GPT) の紹介

◇Chat GPTとは◇

- OpenAI 社が開発した対話型 AI サービス
- 人間と会話するように自然な文章で質問・指示ができ、文章作成、要約、翻訳、問題作成が可能

◇私 の 使 い 方 ◇

無 料 版：Excelの関数作成、課題プリント、定期考査問題作成、英文のブラッシュアップ
問題作成：TF問題/段落内容合致/言い換え/会話文作成/タイトル選択

F 生成AI (Chat GPT) に挑戦

STEP1 インターネットで”Chat GPT”と検索してください。

STEP2 ログイン or サインアップしてください。(校務用メールアドレスで私はアカウントを作成しています。)

※アカウントを作成しなくても使用することはできます。

STEP3 以下の画面になったら、Chat GPT を使用することができます。



G 生成AI (Chat GPT) の練習

- | | |
|----------|------------|
| ① TF問題 | ⑤ タイトル選択 |
| ② 段落内容一致 | ⑥ 語彙の定義 |
| ③ 言い換え | ⑦ 段落並び替え |
| ④ 会話文作成 | ⑧ ブラッシュアップ |

…> 作成にかかる指示文 (プロンプト) は、「I 私の使用事例集」を参照してください。

H 本日の振り返り

- 生成AIはとても便利 (Excel の関数作成、問題作成、英文のブラッシュアップ、何でも相談屋さん)
- 状況・場面に応じた情報の再構築／モデル化 (生成AIの得意分野)
- 指導と評価の一体化：観点別評価に関する議論 = 指導方法・指導内容の不断の見直し
- 生徒は生成AIを当たり前のツールとして持ち合わせている現状
- 人にしかできない生徒との関わり方
- 人にしかできない生成AIをコントロールする視点

過 去 は 過 去 ！ ！ ！

学校あるあるの「例年通りで・・・」から

時代に合わせる形で移行していきませんか???

何かと仕事の多い英語科教員みんなが無理なく

働くことができる働き方や工夫を見つけたいきましょう!!!

ありがとうございました。

I 私の使用事例集

問題作成の練習をする上で、使用可能な長文データが必要な場合は、次の二次元コードを読み込んでください。時事ニュースをレベル別で書き分けた長文を無料で閲覧・コピーできるサイトに移動できます。うまく二次元コードが読み込めない場合 (<https://breakingnewsenglish.com>) へどうぞ。



各 プロンプトは11~12 ページの二次元コードからコピーできます。

① TF問題

プロンプト

あなたは高校の英語教師です。高校3年生向け定期考査で使用する、思考・判断を問うTF問題(4択)を10問、以下の文章の内容に基づいて作成してください。

使用する語彙はCEFR A2~B2(B2寄り)としてください。各選択肢は1文8~12語程度の英文にしてください。4択の選択肢には、必ず次の4種類を含めてください。

- True(本文内容の言い換え) • False(本文と明確に矛盾)
- False(一部のみ一致) • Not Given(本文に書かれていない)

【重要】各設問ごとに、正解の選択肢の位置(A~D)を必ず変えてください。• True / False / Not Given の並び順も毎問変えてください。同じパターンが続かないようにしてください。正解となる選択肢の記号(A~D)と、その文が True / False / Not Given のどれかも同時に示してください。

② 段落内容一致

プロンプト

あなたは高校の英語教師です。高校3年生向け定期考査で使用する、「指定された段落の内容を最もよく表している英文を選ぶ」4択問題を作成してください。

【出題対象】

- 以下の長文の【第○段落】を対象としてください。
- 同形式の問題を複数作成する場合は、各設問を独立したものとして扱ってください。

【設問文】

次の段落の内容として最も適切なものを1つ選びなさい。

【選択肢作成の条件】

- 4つの選択肢には、必ず次の4種類を含めてください。
- 段落全体の要旨を適切に言い換えた文(正解)
- 段落の一部のみを述べている文
- 段落内容と明確に矛盾する文
- 本文には書かれていないが、文脈上もっともらしい文

【言語条件】

- 各選択肢は1文10~15語程度の英文にしてください。
- 使用語彙はCEFR A2~B2(B2寄り)としてください。
- summary, purpose, mainly など、正解を示唆する語は使用しないでください。

【重要：配置とパターン防止】

- ・正解の選択肢の位置(A～D)は、設問ごとに必ず変えてください。
- ・4種類の選択肢(正解／一部一致／矛盾／本文外)の並び順も毎問変えてください。
- ・同じ正解位置が連続しないようにしてください。
- ・「正解→一部一致→矛盾→本文外」という固定順は使用しないでください。
- ・正解だけが極端に抽象的または包括的にならないよう、語数・文構造・抽象度を他の選択肢と揃えてください。

【最終チェック(必須)】

出力する前に、次の点を必ず自己点検してください。

1. 正解位置(A～D)が連続していないか。
2. 各選択肢の種類が4種類すべて含まれているか。
3. 正解だけが明らかに長い／抽象的になっていないか。

問題があれば、修正した上で出力してください。

【解答】

- ・正解の選択肢の記号(A～D)を示してください。
- ・その選択肢が正解である理由を日本語で簡潔に説明してください。

【長文】

(ここに出題したい英文をそのまま貼り付ける)

③ 言い換え

プ ロ ン プ ト

あなたは高校の英語教師です。高校3年生向け定期考査で使用する、「与えられた英文を、意味を変えずに別の表現で言い換える問題」を作成してください。

【出題対象】

- ・以下に示す英文1文を、言い換える対象としてください。

【設問文】

次の英文を、意味を変えずに別の表現で言い換えなさい。

【言語条件】

- ・使用語彙・文法はCEFR A2～B2(B2寄り)としてください。
- ・原文と同じ語句や語順をそのまま繰り返さないでください。
- ・語彙の言い換えだけでなく、構文の変更も含めてください。(例：能動⇔受動、節⇔句など)。

【解答】

- ・模範解答を1～2通り示してください。原文と意味が等価である理由を日本語で簡潔に説明してください。

【原文】

(ここに出題したい英文をそのまま貼り付ける)

④ 会話文作成

プ ロ ン プ ト

あなたは高校の英語教師です。

高校 3 年生向け定期考査で使用する、会話文読解問題を作成してください。

【1 会話文の作成】

以下の条件に従って、Kevin と Chris の英会話文を作成してください。

- ・CEFR レベル:A2～B2 (B2 寄り)
- ・会話の場面・状況:(ここに作成者が自由に入力)
- ・1 発言あたりの語数:ここに作成者が自由に入力。例:1～15 語)
- ・会話のやり取り数:(ここに作成者が自由に入力。例:20 回)
- ・会話は自然な口語調とし、高校生が理解可能な内容にする
- ・会話全体に一貫したテーマを持たせる

【2 空所補充問題の作成】

作成した会話文そのものの中に空所(____)を設定し、空所補充問題を作成してください。

- ・空所の数:(ここに作成者が自由に入力。例:4 か所、6 か所など)
- ・空所は文脈理解が必要な語句とする
- ・単なる文法知識ではなく、意味や内容理解が必要な箇所を選ぶ
- ・語彙、文法レベルは CEFR A2～B2 (B2 寄り)
- ・原則として 1 空所 1 語(必要に応じて句も可)

【解答】

- ・各空所の正解を示すこと
- ・なぜその語句が適切かを日本語で簡潔に説明すること

【3 内容一致問題の作成】

作成した会話文の内容に基づき、内容一致問題(4 択)を作成してください。

- ・問題数:(ここに作成者が自由に入力。例:1 問、2 問など)
- ・設問文は次の形式を用いること。
「次の英文のうち、会話の内容と一致するものを 1 つ選びなさい。」
- ・各設問の 4 つの選択肢には、次の 4 種類を必ず 1 つずつ含めること。
 - 1 会話内容と一致している文(正解)
 - 2 会話内容と明確に矛盾している文
 - 3 会話内容の一部のみを述べている文
 - 4 会話には書かれていないが、文脈上もっともらしい文
- ・各選択肢は 1 文 8～12 語程度とする
- ・語彙、文法は CEFR A2～B2 (B2 寄り)
- ・本文の語句をそのまま繰り返さず、言い換え表現を用いる

【解答・解説】

- ・各設問の正解の選択肢(A～D)を示すこと
- ・なぜそれが正解で、他の選択肢が不適切かを日本語で簡潔に説明すること

【作問上の注意】

- ・難易度は高校3年生の定期考査として適切なものにする
- ・空所補充、内容一致ともに、会話全体の理解が必要になるよう設計する
- ・一部だけを読めば解ける問題にならないよう注意する
- ・不自然、機械的な会話表現は避ける

⑤ タイトル選択

プ ロ ン プ ト

あなたは高校の英語教師です。

高校3年生向け定期考査で使用する、「与えられた文章の内容を踏まえて、最も適切なタイトルを選ぶ」4択問題を作成してください。

【本文】

(ここに出題したい英文をそのまま貼り付ける)

【設問】

次の文章のタイトルとして最も適切なものを1つ選びなさい。

【選択肢作成の条件】

- ・4つの選択肢はすべて英語で作成すること
 - ・使用語彙・表現はCEFR A2～B2(B2寄り)とする
 - ・各選択肢は、簡潔で自然なタイトル表現とする
 - ・文の長さは、おおよそ3～8語程度を目安とする
 - ・4つの選択肢には、必ず次の4種類を含めること
- 1 文章全体の内容を最も適切に表しているタイトル(正解)
 - 2 文章の一部の内容のみを強調しすぎているタイトル
 - 3 文章の具体例や細部に偏ったタイトル
 - 4 文章には書かれていない内容を示唆するが、もっともらしいタイトル

【解答】

- ・正解の選択肢(A～D)を示すこと
- ・なぜそのタイトルが本文全体を最もよく表しているかを、日本語で簡潔に説明すること

⑥ 語彙の定義

プ ロ ン プ ト

あなたは高校の英語教師です。高校 3 年生向け定期考査で使用する、「語句の意味として最も適切な定義を選ぶ」4 択問題を作成してください。

【Target expression】

ここに作成者が任意で語句・句動詞・熟語を入力する 例: put up with

【問題形式】

- ・語句が先に提示され、その意味として最も適切な定義を選ぶ形式とする
 - ・設問文は次の文を用いること
- 次の語句の意味として最も適切な定義を 1 つ選びなさい。

【選択肢作成の条件】

- ・選択肢は A から D の 4 択とする
- ・4 つすべてを「定義文」とする(語句は書かない)
- ・4 つすべての定義は Oxford English Learner's Dictionary に基づく内容とする
- ・正解は Target expression の定義と完全に一致するものとする
- ・残り 3 つは意味が明確に異なる定義とする
- ・高校生が理解可能な一般的語彙レベルの定義にする
- ・正解だけが極端に分かりやすくないよう難易度をそろえる

【言語条件】

- ・定義文は 1～2 文とする
- ・語彙・文法レベルは CEFR A2～B2 (B2 寄り)とする
- ・定義文の中に Target expression を含めないこと

【解答・解説】

- ・正解の選択肢(A～D)を明示すること
- ・なぜその定義が Target expression に最も適切なのかを日本語で簡潔に説明すること
- ・必要に応じて、他の選択肢が誤りである理由も補足すること

【作問上の注意】

- ・単なる暗記ではなく、定義理解と語彙識別力を問う問題にする
- ・高校 3 年生の定期考査として不自然に専門的な定義は避ける
- ・定義と選択肢の難易度に大きな差が出ないように注意する

⑦ 段落並び替え

プ ロ ン プ ト

あなたは大学入学共通テストレベルの英語読解問題を作成する専門家です。
以下の条件をすべて満たす「英文並べ替え問題(段落整序)」を作成してください。

【出題形式】

- ・A～Fの6つの段落を論理的に並べ替える問題
- ・各選択肢(A～F)は**1段落(3～5文)**で構成する
- ・段落内には主張・具体・評価(または因果)が含まれるようにする

【内容条件】

- ・テーマは社会・文化・教育・科学など一般的な抽象テーマ
- ・高校生が読めるが、論理構造を意識しないと解けない難易度
- ・語彙・表現は大学入学共通テストレベル

【論理構成条件】

- ・Aは導入段落(テーマ提示)
- ・B～Fは表示上アルファベット順で提示するが、正しい順ではない
- ・段落間の論理関係が、以下によって判断できるようにする
 - 接続表現(However, Therefore, For example, To address this, If など)
 - 指示語(this, these, such, these issues など)

【展開パターン】

- ・問題提起 → 具体例 → 影響 → 対応策 → 評価・帰結
- ・ただし、毎回同じ順序や語句にならないよう変化をつける

【出力形式】

【問題文】A～F(表示用・順不同)

※各段落は3～5文

【解答】正しい段落順のみ(例:A → B → C → …)

余計な解説は書かず、問題として完成した形で出力すること。

⑧ ブラッシュアップ

プ ロ ン プ ト

あなたは経験豊富な英語教師であり、英文校正の専門家です。
次の英文について、以下の観点から判断してください。

【確認する英文】

ここに英文を入力する

【確認事項】

- 1 英語として自然かどうか
- 2 文法的に正しいかどうか
- 3 不自然または誤りがある場合、その箇所と理由
- 4 より自然で適切な表現があれば、その改善例

【回答の条件】

- ・結論を最初に簡潔に述べること
(例:「文法的に正しく、自然です」/「文法的には正しいが不自然です」など)
- ・必要以上に難しい専門用語は使わないこと
- ・高校生にも説明できるレベルの英語知識で説明すること
- ・意味が変わる修正は行わないこと

⑨ 長文読解プリント (令和5年度実施)

プ ロ ン プ ト

あなたは高校の英語教師であり、大学入試・定期考査レベルの長文読解問題を作成する専門家です。
以下の指示に従って、長文と設問を作成してください。

【① 長文作成】

- ・テーマ:ここに作成者が入力
- ・語数:約ここに作成者が入力語
- ・CEFR レベル:A2～B2 (B2 寄り)
- ・高校3年生が無理なく読める自然な英文とする
- ・内容は説明文または論説文とする
- ・明確な段落構成をもたせる
- ・段落数は5～6段落程度とする
- ・長文中に Paragraph などの見出し語は使用しない

【② 設問作成】

以下の設問は、すべて①で作成した長文をもとに作成すること。

(1) 段落内容一致問題(4択・1問)

- ・設問文

次の段落の内容として最も適切なものを1つ選びなさい。

・対象段落:第○段落(作成者が指定)

・選択肢はすべて英文

・各選択肢は1文10～15語程度

・次の4種類を必ず含める

1 段落全体を適切に言い換えた文(正解)

2 段落の一部のみを述べた文

3 段落内容と明確に矛盾する文

4 本文にはないがもっともらしい文

(2) 空所補充問題(4択・1問)

・空所補充は「本文を見れば答えが分かる再現問題」にしない

・本文中にそのまま現れている語句は空所にしない

・本文内容に基づく言い換え・要約・文脈整理を含む文に空所を設ける

・文法的には複数の選択肢が入るが、文脈理解がないと正解できない形にする

・設問文

次の文の空所に入る最も適切な語句を1つ選びなさい。

・選択肢はA～Dの4択

・すべて文法的には空所に入る語または語句とする

・正解は1つのみ

・正解の位置(A～D)が固定されないようにする

・語彙レベルはCEFR A2～B2(B2寄り)

(3) 内容理解 True / False 問題(4択・1問)

・設問文

次の文の内容として最も適切なものを1つ選びなさい。

・次の4種類を必ず含める

1 本文内容と一致する文(True・正解)

2 本文の一部を誤って言い換えた文

3 本文内容と明確に反する文

4 本文には書かれていないがもっともらしい文

・各選択肢は1文10～15語程度

・表面的な単語一致では解けないようにする

【③ 解答・解説】

・各設問について正解の選択肢(A～D)を示す

・正解である理由を日本語で簡潔に説明する

・高校3年生向けの配布用解説として適切な内容にする

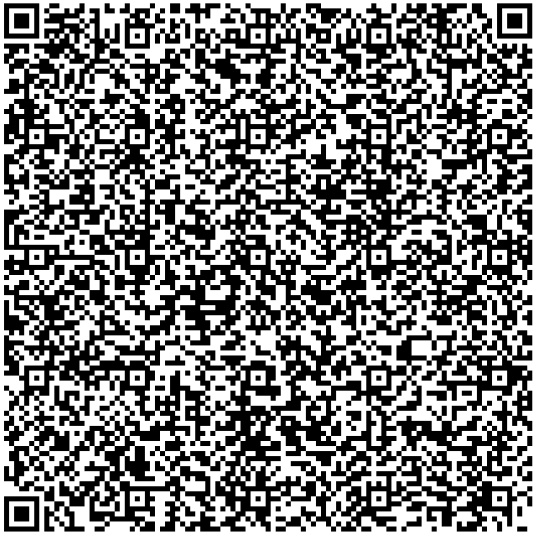
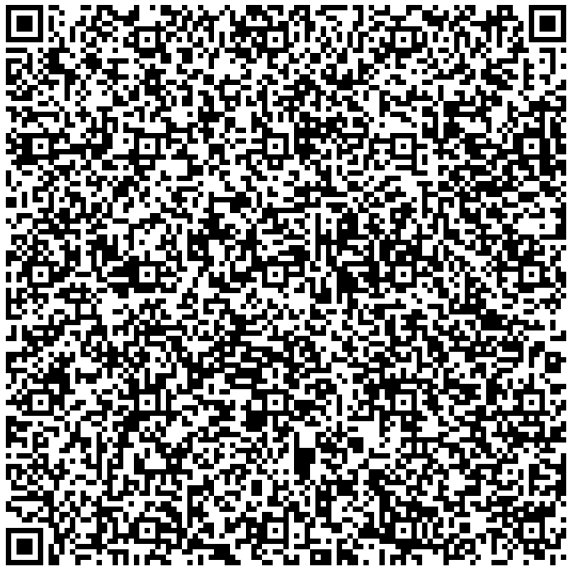
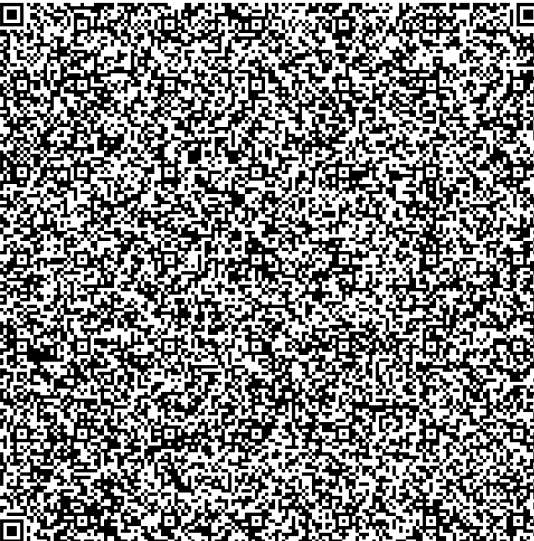
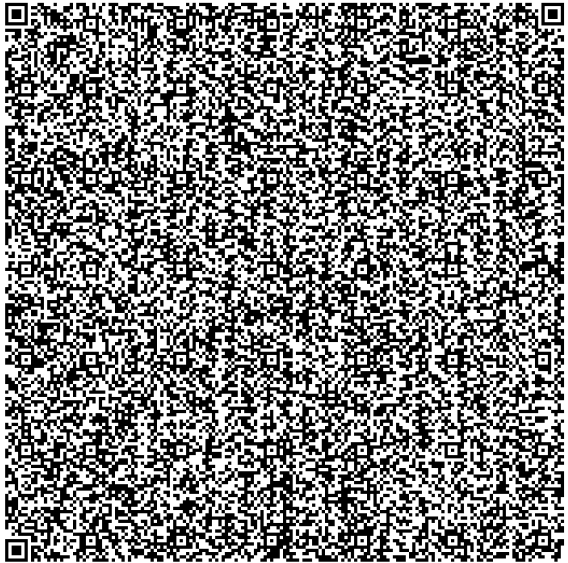
【④ 作問上の注意】

・正解が毎回同じ位置にならないようにする

・語彙や構文の難度が特定の選択肢だけ極端にならないようにする

・定期考査として思考力・判断力を測れているかを意識する

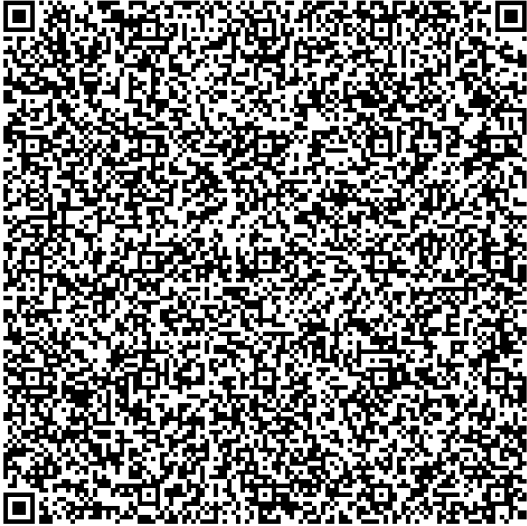
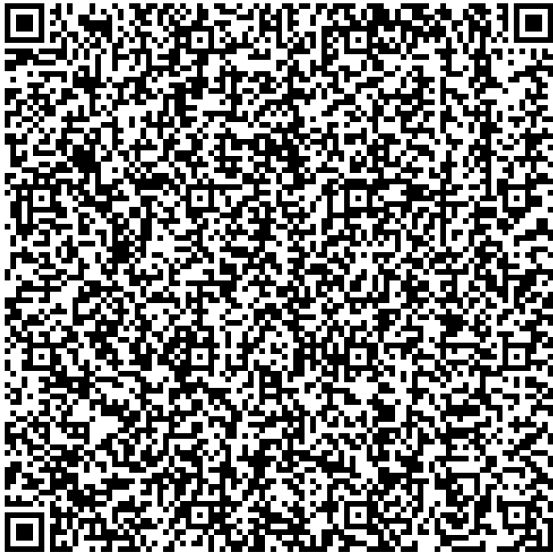
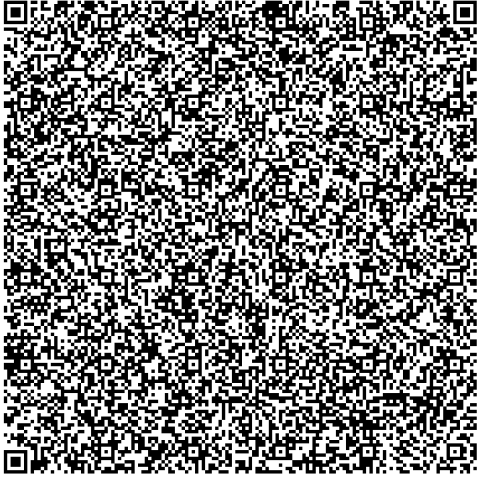
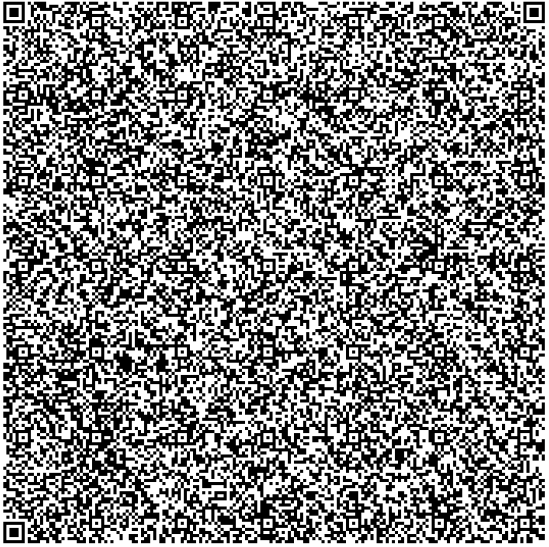
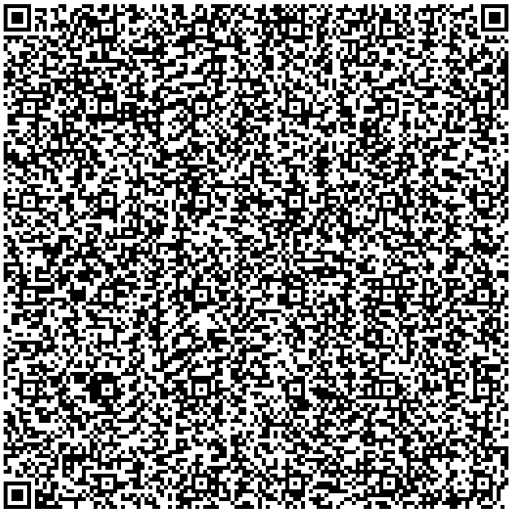
各プロンプトは以下の二次元コードを読むことでコピー可能です。

①	TF問題 	言い換え 
②	段落内容一致 	会話文作成 

- それぞれのプロンプトはあくまで問題作成の叩き台です。
- 学校の実情や生徒の実態に応じて、プロンプトに加筆修正等して、最適なプロンプトに編集ください。
- 各プロンプトの中で作成者が任意で入力する箇所がありますので、必要に応じて入力をお願いします。

⑨長文読解プリント（令和5年度実施）についての補足説明

- a 週1の読解課題を「主体的に学習に取り組む態度」で成績評価するものとして課したいと考えていた。
- b 読む内容は教師による独断と偏見による選択で、つまり自由度が高いもので作りたかった。
- c 生徒が読む英語の難易度は生徒の実態に応じて変動できるものであればより良いと思っていた。
- d これら a-c を可能にしてくれる味方が Chat GPT であった。
- e ただし、令和5年度は長文だけで問題作成は教員で行っていた。（ものすごい負担だった。）
- f 今回、長文作成と問題作成をすべてワンクリックでできるように改良した。

<p>⑤</p> <p>タイトル選択</p> 	<p>⑧</p> <p>ブラッシュアップ</p> 
<p>⑥</p> <p>語彙の定義</p> 	<p>⑨</p> <p>長文読解プリント（令和5年度実施）</p> 
<p>⑦</p> <p>段落並び替え</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● Chat GPT だけでなく、その他の生成 A I でも同じように対話型で課題解決をしていくことが可能です。 ● 生成 A I と対話していくことで、過去の指示から次の仕事に向けて生成 A I は学習していきます。（＝技術の進歩） ● 問題文を P D F 化して読み込ませてから、解答を作らせることや、その問題の傾向を踏まえて作成させることも可能です。 ● ただし、生成 A I は必ずしも正しい情報を提供しているとは限りません。<u>必ず教員の目でチェックすることが極めて重要です。</u>